

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

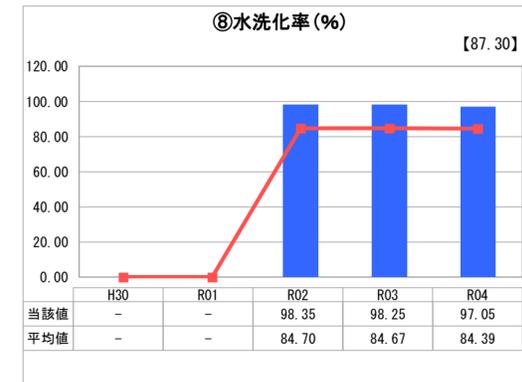
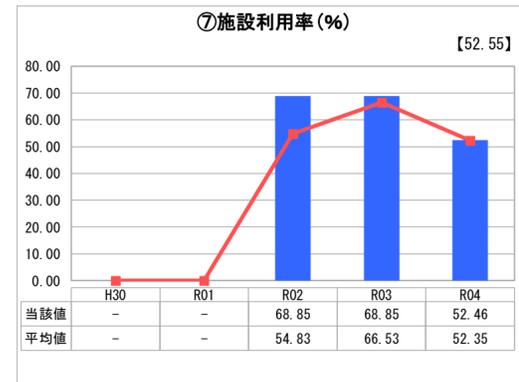
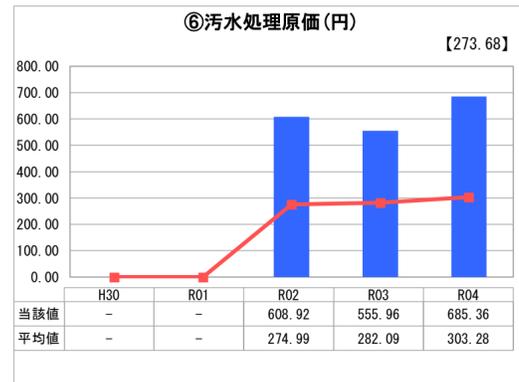
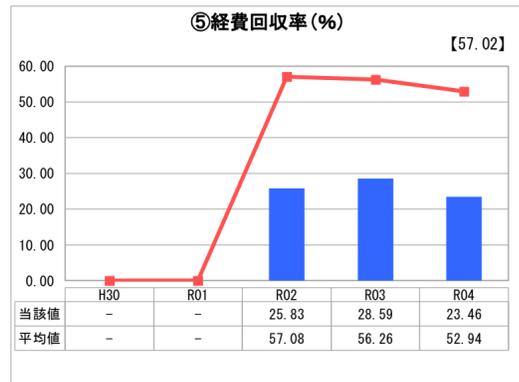
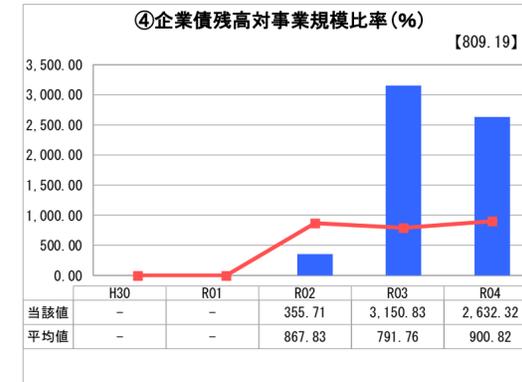
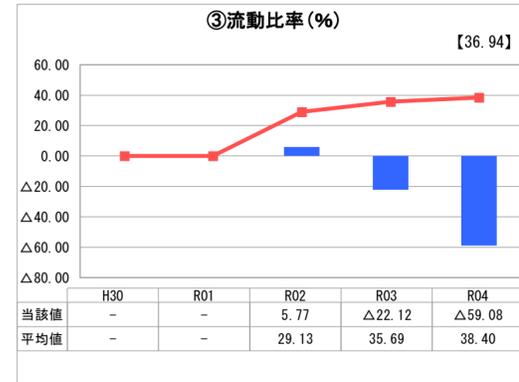
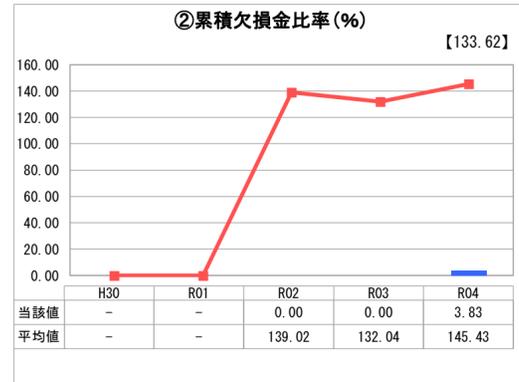
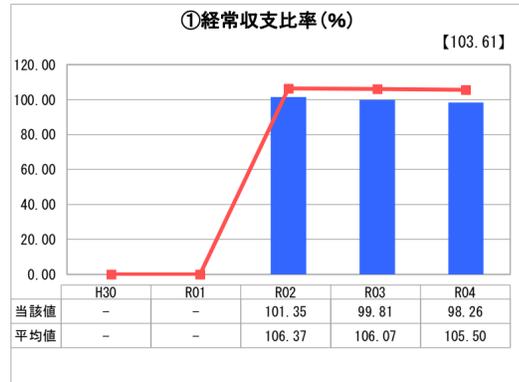
岐阜県 川辺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	79.29	2.39	90.67	3,190

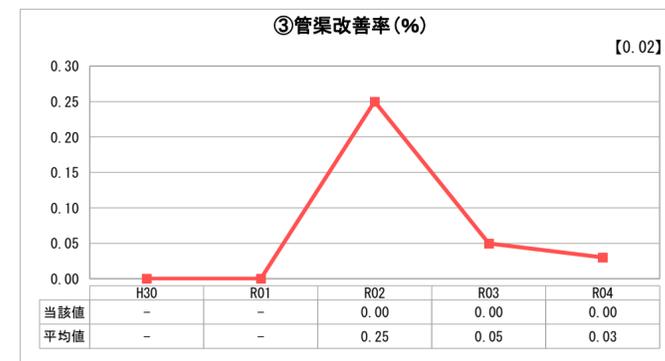
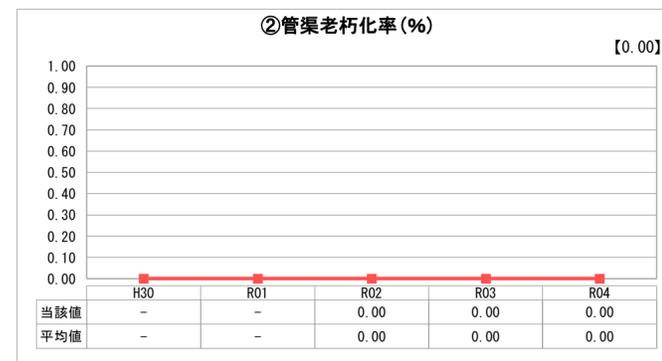
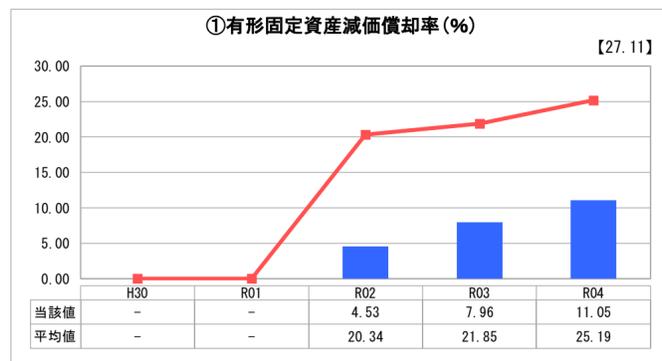
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,962	41.16	242.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
237	0.57	415.79

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

③類似団体と比較すると大きく下回っている。  
元金償還については、公共下水道事業の補てん財源にて賄っているため、農業集落単体でみると流動資産がマイナスとなっている。

④類似団体と比較すると大きく上回っている。  
使用料収入が限られているのに対し、企業債について一般会計からの繰入を行っていないため、比率が非常に高い。なお新たな企業債の借入予定はなく、令和10年度に償還が終了する予定である。

⑤類似団体と比較すると大きく下回っている。  
処理区域内人口が少ないため有収水量が少なく使用料収入も少ない、そのため使用料収入だけでは汚水処理費を賄っていない。

⑥類似団体と比較すると大きく上回っている。  
処理区域内人口が少ないため有収水量が少なく、汚水処理原価が高くなっている。

### 2. 老朽化の状況について

①類似団体と比較すると大きく下回っている。  
現在川辺町に存在する農業集落排水の施設のほとんどが、耐用年数を迎えていないため、平均と比べ低い数値となっている。

③類似団体と比較すると大きく下回っている。  
管渠については耐用年数を迎えていないため、直ちに更新する必要がない。

## 全体総括

農業集落排水事業の経営は、使用料収入に限られていることから、一般会計からの繰入によりそのほとんどを賄っている。  
農業集落排水事業では、新たな企業債の借入予定はなく、令和10年度に償還が終了する予定である。  
処理場の維持管理に多額の費用を要しているため、令和7年度末に流域関連公共下水道に接続を完了し、維持管理コストの削減を図りたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。